

巡検・セミナー開催のご案内

平成26年第1回セミナーについては行事委員会で現在企画。次回8月初旬発行のICIC News No.70号にてお知らせ致します。セミナーは9～10月頃を計画しておりますのでぜひご参加下さい。

ますのでぜひご参加下さい。

冬の巡検は「横浜・鶴見周辺」を計画中です。この地域はハイカラな印象の横浜の中でも、韓国や沖縄といったちょっと違った多文化の趣が見られる町です。観光地とはちょっと違った鶴見周辺の巡検をお楽しみに。

展覧会情報

調布玉川惣画図の旅

会場 パルテノン多摩 歴史ミュージアム
電話 042-375-1414
期間 3月14日～7月7日

世界文化遺産登録1周年記念「富士山と鉄道」

会場 旧新橋停車場鉄道歴史展示室
電話 03-3572-1872
期間 4月8日～7月21日

近鉄電車展 ー日本最大の私鉄開業1世紀ー

会場 天理大学附属天理参考館
電話 0743-63-8414
期間 4月9日～5月27日

上杉家伝来絵図

会場 米沢市上杉博物館
電話 0238-26-8001
期間 4月19日～6月8日

地図の語る多様な世界 ー地図の過去・現在・未来ー

会場 北海道大学総合博物館
電話 011-706-2658
期間 4月22日～6月8日

NIPPONパノラマ大紀行 ～吉田初三郎のえがいた大正・昭和～

会場 名古屋市博物館
電話 052-853-2655
期間 7月26日～9月15日

戦いのしるしー古戦場絵図・武具図展

会場 千秋文庫
電話 03-3261-0075
期間 5月20日～8月2日

mini地図NEWS

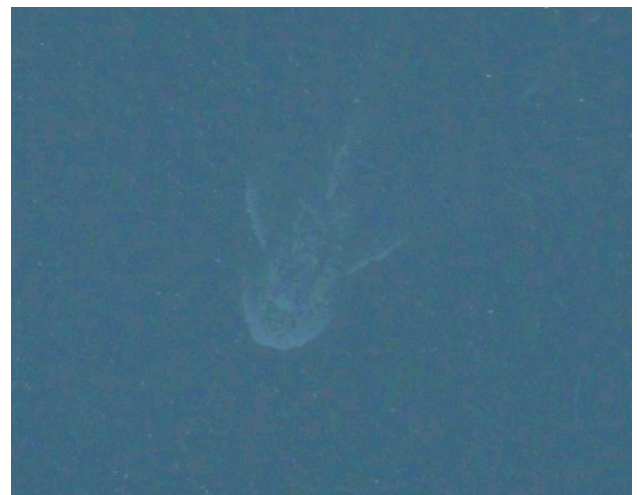
地図を着よう!

イギリスを拠点に活動するアーティスト、Elisabeth Lecourtさんがデザインしたワンピース。(roomie)



iOSの地図でネス湖に巨大生物が写っていると話題に

Daily Mailによると、AppleのiOS地図アプリの衛星写真でネス湖に巨大な生物らしきものが写りこんでいる。Official Loch Ness Monster Fan Clubによるとこの生物のサイズは約30.5mだという。もしかしたらAppleのイースターエッグなのかも(かつてMacにはイースターエッグという隠し機能があった)。(CNET Japan他)



地図絡み

第57回 鮭より優しい味の鱒

帝京大学理事 井口悦男

太平洋側の東京付近では、グルメ時代の現在に至っても、なお、鮭と鱒とは、鮭が断然上位で、マスおんの音のなかには、比べて味も色も、ずっと下段の品という叙列は動いていないようである。最近のT.V.上主婦の吐き捨てるかの鱒に対する扱いを聞き、少々ショックであった。

宿の朝食で、幕の内弁当で、焼魚として鮭は定番中の定番の一品である。

したが、同様の海苔とともに、登場する品々の品質が劣るとき、宿の食事を含めその格が判明する。醤油味香らない味付海苔と、白っぽい桃色で、スカスカ味の鱒となると、形だけの食事となる。そういえば、鐘詰の鮭には、その背骨とともによく親しんだが、その際注意して選んで、鐘切りを当てたものだったのは、鱒鐘を避けるため鐘に打込まれた記号を確認することであった。色も味も格段に違い、絶対見落せない事項でもあった。

ところが、関東ならぬ日本海側、例えば新潟に出掛けると、魚について近頃赤ムツのノド黒が高級魚として知られるかげに、「上等なマス」が手に入りまして、塩焼が並ぶのである。「ハアッ」と一瞬戸惑うが、ノド黒の脂っぽさとは別の、マサカと舌が感じてやまない、ふっくらかつ上品な脂身に、鮭にはない軟らかさの厚みを味わえる。奥深いやさしいキメ細かさ、照焼きでさらに発揮される。

たしかに駅弁代表のひとつに、富山の「鱒のすし」桶が有名で、その朱色に折込まれた姿は見事ながら薄切れ酢漬けで、鱒自体の甘味からはほど遠い。

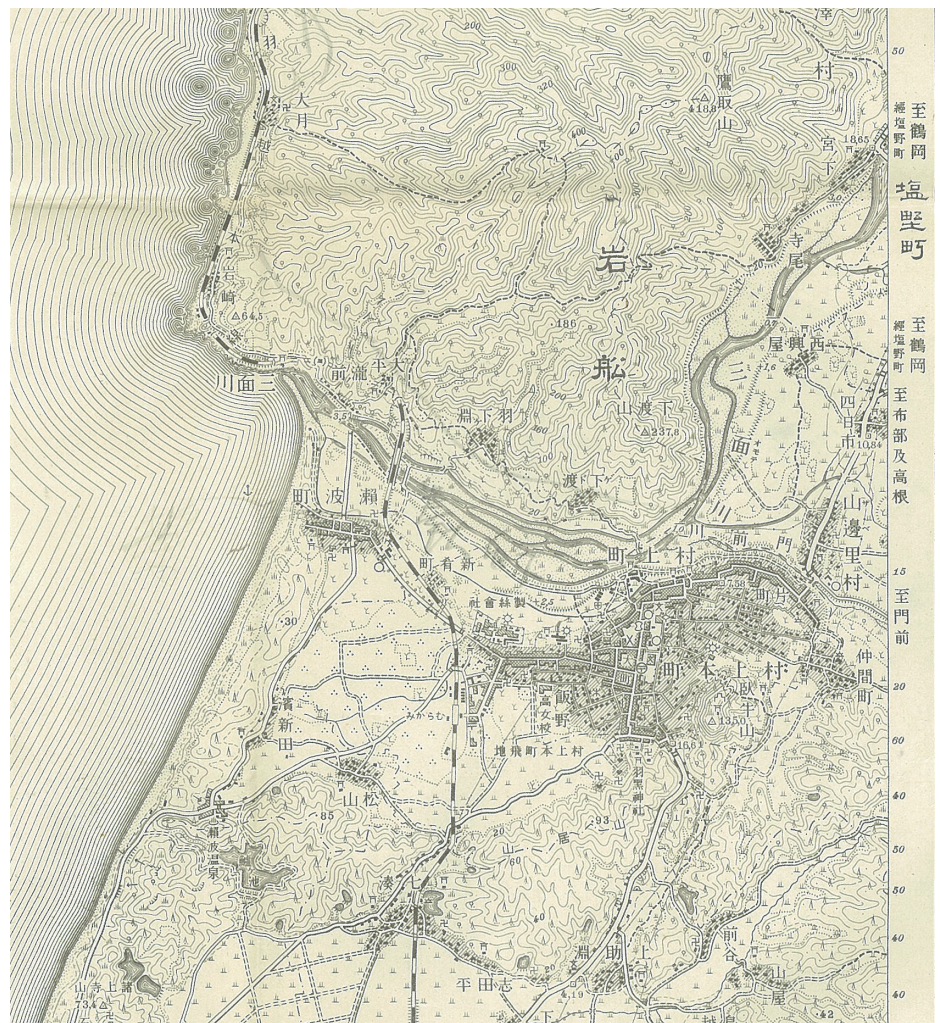
越後でも、海からやや離れる山合いの栃尾辺まで入ると、鯉の洗いや鯉こくがうまいし、大きく少々厚い油揚げとぜんまいの煮物が忘れられない。それに、山中の冷水の田に育つ、堅くて甘みの強い御飯の

味。このときばかりは、胃の容量が大きければとくやしい。

ホテルや食堂車での、朝の洋定食、じつに楽しいひとときでもあるが、栃尾在の宿が迎える、炊きたての御飯を前に、ホカホカと湯気に囲まれた朝の和食の豊かさは最高に思えてならない。肉なしの不足さをまったく感じないすばらしさである。
(H26.4.10)



天井から下がった干鮭 (村上・岩舟旅行 クチコミガイドより)



鮭の遡上で知られた三面川 5万分1「村上」大正8年測図昭和6年要部修正 (90%縮小) (大日本帝国陸地測量部) 鱒ではなく鮭の例図になるが、干塩鮭で知られた越後北端城下町と商人町が永らく並行別行政域として続いていた、村上。特定漁法も有名。朝日山地から数流発する中小河川。村上は、北辺茶所でも。ここを通る羽越本線は、新潟方面からここまでが直流電化。以北交流。